

技術資料番号 ケ技資-10031 号

国土交通大臣認定書

認定番号 PS060WL-9184
(認定取得会社 住友電気工業株式会社)

2016年 4月

(認定管理会社)



住電機器システム株式会社



グループ長	担当

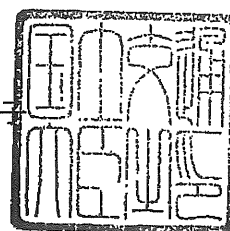
認定書

国住指第 4190 号
平成 14 年 5 月 30 日

住友電気工業㈱

社長 岡山 紀男 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ[防火区画貫通部 60 分遮炎性能]の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PS060WL-9184

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

けい酸カルシウム板 (25mm+25mm 以上) 重張/水酸化マグネシウム充填/被覆電線/壁

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

1. 構造名

けい酸カルシウム板(25mm+25mm 以上)重張/水酸化マグネシウム充填/被覆電線/壁

2. 申請仕様の寸法

申請仕様は次表の通りであり、その根拠は別紙の通り。

項 目	申 請 仕 様	
	A工法	B工法
工法名		
開 口 部	0.14m ² 以下	0.052m ² 以下
占 積 率 (開口面積に対する断面積の総合計の割合)	13.8% 以下	26.8% 以下
貫通する壁の構造等	厚さ100mm以上の壁 (鉄筋コンクリート)	

3. 申請仕様の構成材料

別紙の通り。

4. 構造説明図

添付構造説明図の通り。

5. 施工方法

添付施工方法書の通り。

3. 申請仕様の概要

1. 使用材料説明

本工法で使用する材料は下記の通り。

(1) 耐熱シール材

商 品 名	SFエコシール(非硬化タイプ)
-------	-----------------

(2) 耐火仕切板

繊維混入けい酸カルシウム板 (通則認定 不燃第1061号品) 厚さ25mm×2枚
(又は50mm×1枚)

(3) アンカーボルトM6以上(壁側固定用) ・タッピングビス(耐火仕切板側固定用)

(4) 固定金具 ----- 厚さ1.6mm以上の平鉄加工品

(5) 耐熱性接着剤

商品名：キルボンド (ニックボンド)

製造者：(株)アスク

主要構成材料	・無機繊維 ・耐熱添加材	・けい酸ソーダー
特 性	硬化時間 ----- 8時間 接着強度 ----- 9.8N/cm ² 以上 耐 熱 度 ----- 1100℃	

2. 適用範囲

OAフロア（アクセスフロア）床下内の壁貫通部に適用する。

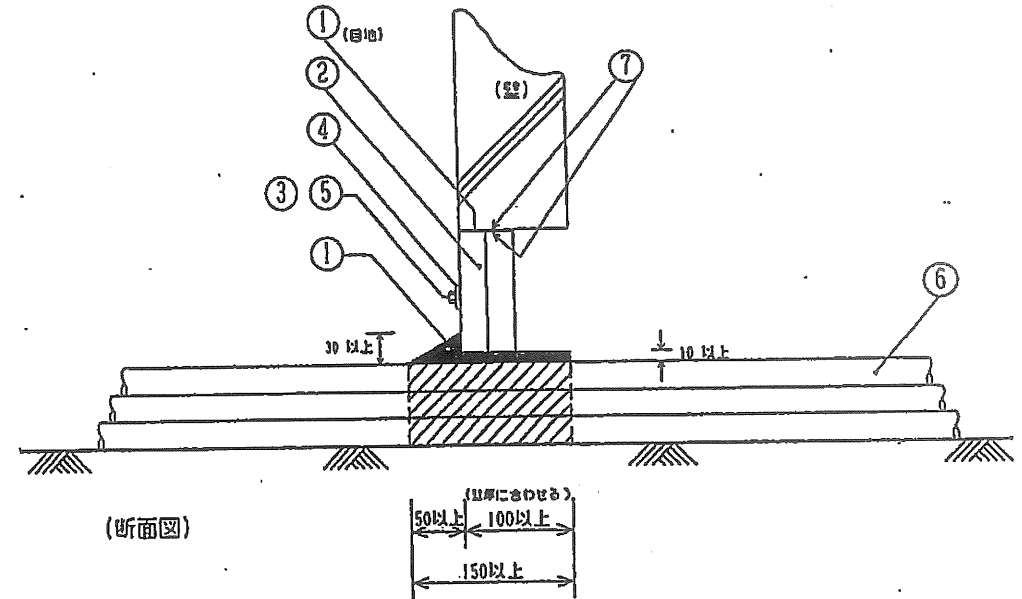
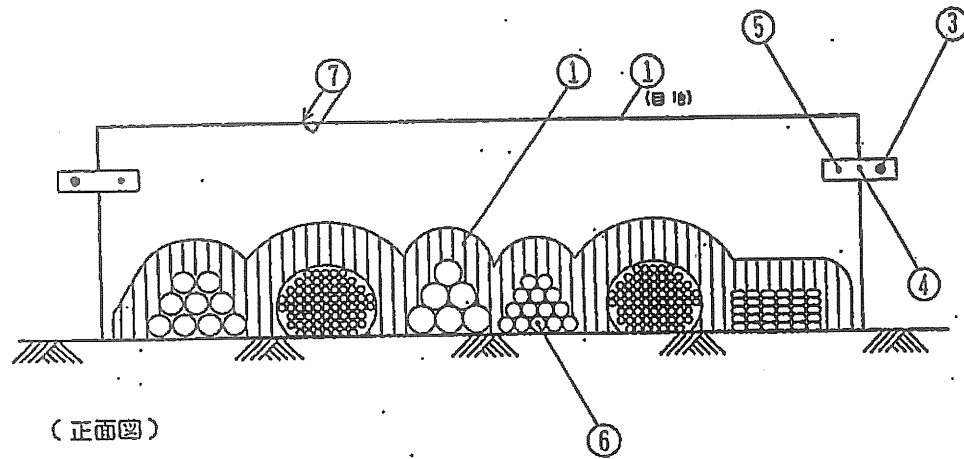
工 法	A工法	B工法
壁 厚	100mm以上	
開口部断面積	0.14m ² 以下	0.052m ² 以下
ケーブル占積率	13.8% 以下	26.8% 以下
	ケーブル最大サイズ：600V CV 3X38mm ²	

4. 構造説明図

構造説明図-1

A工法 (開口面積、0.14 m²以下)

(寸法単位: mm)

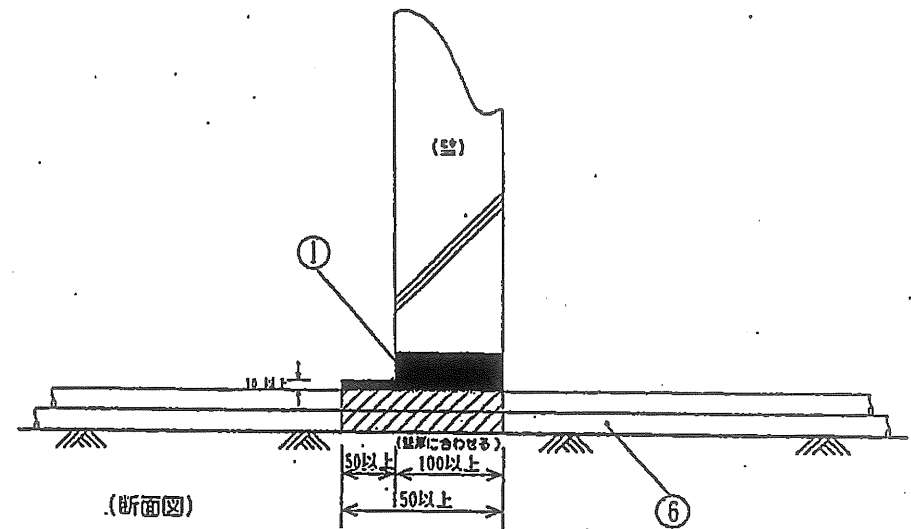
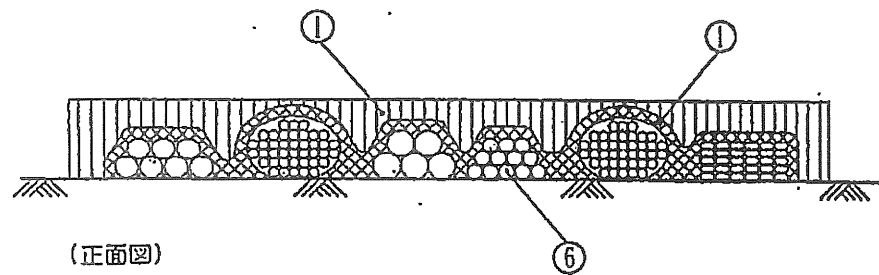


番号	名 称
1	耐熱シール材 (SFIコシル)
2	耐火仕切板 (けい酸加シウム板 厚50mm又は25mmX2枚)
3	アンカーボルト (M6 以上)
4	固定金具 (厚 1.6mm以上の平鉄)
5	タビングビス
6	ケーブル
7	耐熱性接着剤 (ネボント)

構造説明図-2

BT工法 (開口面積 0.052 m²以下)

(寸法単位:mm)

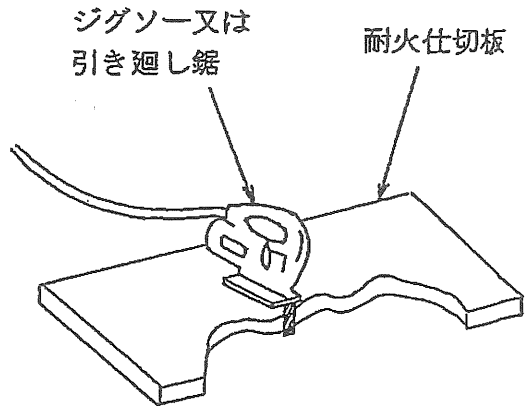
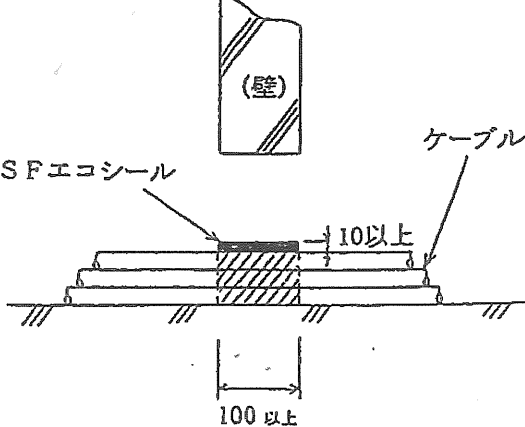


番号	名称
1	耐熱ソール材 (SFICソール)
6	ケーブル

5. 施工方法

施工方法

1. A工法、施工は次の手順で行う。

説 明	図 (単位:mm)
<p>(1) 清掃 開口部内及び施工周囲に配線されているケーブルを清掃する。</p> <p>(2) 寸法取り 耐火仕切板の加工を行うため開口寸法及び貫通ケーブルの配線状況による寸法を測る。 配線ケーブルと耐火仕切板との隙間は10mm以上を目標とし25mm以下とする。</p> <p>(3) 耐火仕切板の切断加工 (2) 項の寸法を耐火仕切板にけがきジグソーや引き廻し鋸等で切断加工する。</p>	
<p>(4) 耐熱シール材の巻き付け 開口部内に位置する配線ケーブルの表面にシート状耐熱シール材(SFエコシール)を10mm以上の厚さとなるように巻き付ける。巻き付ける長さは、開口手前側の壁面レベルより奥に100mm以上(壁厚に合わせる)</p>	

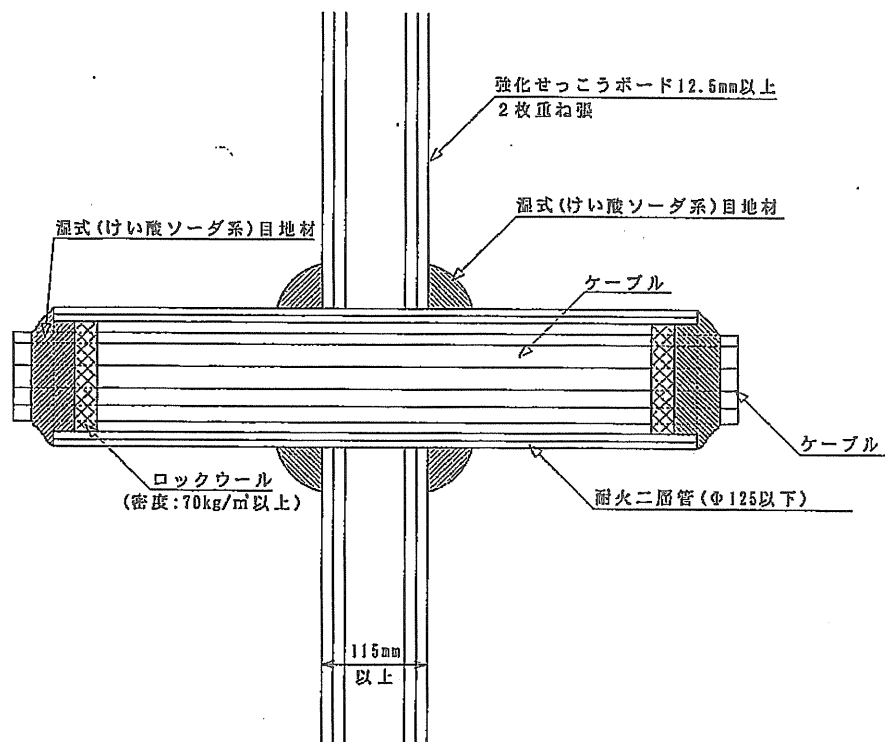
説 明	図 (単位: mm)
<p>(5) 耐火仕切板の取付</p> <p>(イ) 耐火仕切板を開口内にはめ込む前に、開口部と耐火仕切板端面の両方に耐熱性接着剤(キルボト)を塗る。シート状耐熱シール材(SFエコシール)を目地を目的として貼りつける。</p> <p>(ロ) 耐火仕切板を開口内にはめ込む。</p> <p>(ハ) 固定金具を用いて壁面側はアンカーボルト(M6以上)で耐火仕切板側はタッピングビス等で取付ける。</p> <p>・耐火仕切板2枚使用の場合は切断加工された2枚の板をタッピングビスで事前に接合し上記(イ)・(ロ)・(ハ)の手順で施工する。</p> <p>(注) 耐火仕切板は厚みが25mmの場合は2枚、50mmの場合は1枚使用する。</p>	
<p>(6) 耐熱シール材の充填</p> <p>耐火仕切板の前面に耐熱シール材(SFエコシール)を高さ30mm以上、長さ50mm以上テーパ状に充填して施工を完了する。</p>	

3. B工法、施工は次の手順で行う

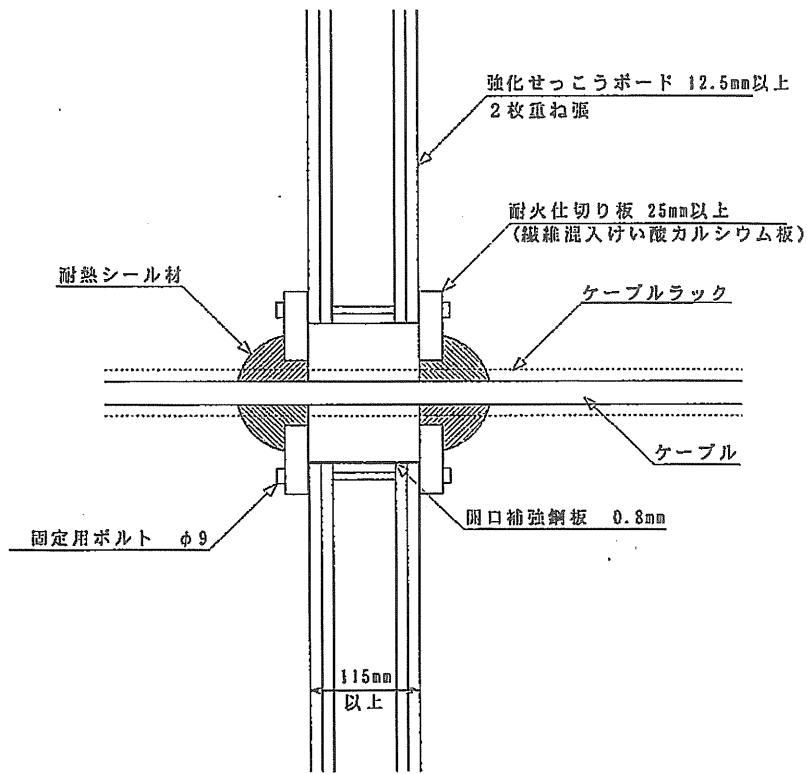
説 明	図 (単位: mm)
<p>(1) 清掃</p> <p>開口部内及び施工周囲に配線されているケーブルを清掃する。</p> <p>(2) 耐熱シール材の充填</p> <p>開口内部に耐熱シール材(SFエコシール)を全面充填する。</p> <p>充填する長さは開口手前側の壁面レベルより奥に100mm以上(壁厚に合わせる)</p>	
<p>(3) 耐熱シール材の巻き付け</p> <p>開口の壁面レベルより手前50mmの間に位置する配線ケーブルの表面にシート状耐熱シール材(SFエコシール)を厚さ10mm以上、長さ50mm以上巻き付けて施工を完了する。</p>	

6. 留意事項

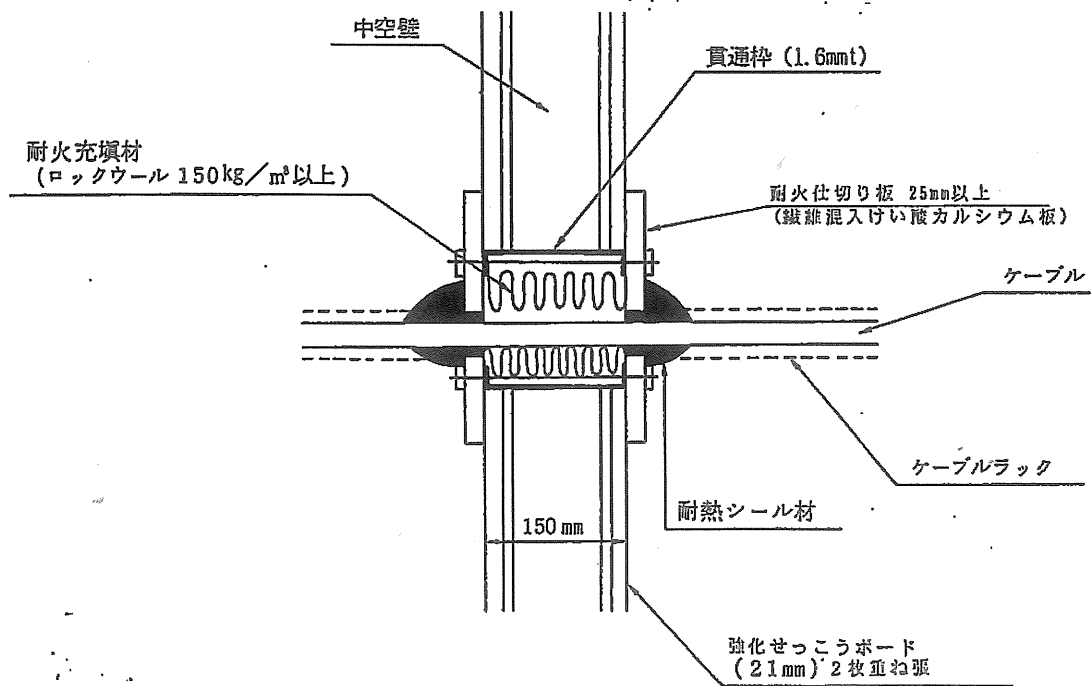
本認定は、原則として中空壁を貫通する管を対象とするものではない。ただし、次の仕様で中空壁を貫通する管については、既に試験等で性能が確認されているため、認定の適用範囲とすることができる。



ケーブル配線（耐火二層管挿入）の防火区画（中空壁）貫通部措置：



ケーブル配線（ケーブルラック）の防火区画（中空壁）貫通部措置



ケーブル配線の防火区画（中空壁）貫通部防火措置工法